

またおほせとら
同大嬢、家持に贈る歌二首

七三七番

かにかくに 人は言ふとも 若狭道の 後瀬の山
の 後も逢はむ君

七三八番

世の中の 苦しきものに ありけらし 恋にあへ
ずて 死ぬべき思へば